

2022 年度第 1 回栄養・医療系系グループ分野連携合同会議  
議事概要

I. 日 時： 令和 4 年 9 月 29 日(木)17：00～19：00

II. 場 所： Zoom 会議室

III. 出席者： 21 名

(栄養学)原島委員長、鈴木委員、由良委員(薬学)黒澤委員長、西村委員、大嶋委員、大津委員、(医学)高松委員長、渡辺委員、(歯学)神原委員長、片岡委員、藤井委員、奥村委員、花田委員、辻林委員、森實アドバイザー、(看護学)中山委員、永吉委員、丸山委員、(情報専門教育分科会)大原アドバイザー、(データサイエンス教育分科会)渡辺美智子アドバイザー

事務局：井端事務局長、山田、中村職員

IV. 委員紹介

栄養学・医学・歯学・薬学系別 FD/ICT 活用研究委員会、看護学サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会に出席の委員による自己紹介を行った。

V. 報告事項

1. 対話集会に向けた準備と分野連携合同会議の進め方について

事務局より資料①の「分野連携対話集会に向けた準備と合同会議の進め方についてメモ」に沿って、合同会議の検討スケジュールについて報告が行われ、2回の合同会議で分野連携対話集会の開催準備を行うことが報告され、次回の開催を10月27日(午後5時～7時)と決定し、プログラムの決定、委員の役割分担等について検討することを確認した。

VI. 確認と検討事項

1. 昨年度対話集会の振り返りについて

事務局より資料②の「昨年度対話集会の振り返り」に沿って、5件の話題提供を紹介した後、主な意見交流の内容として、学修者本位の教育への転換、遠隔授業の実施状況と学修評価の方法、遠隔授業に対する課題、ハイブリッド型授業に向けた課題、多分野の知識を組み合わせ、知の創造を訓練する実験授業モデルの可能性、対面と遠隔を組み合わせたプラットフォーム作りと課題の整理、ビデオ試問による思考力等の点検・評価・助言モデル構想の具体的なイメージ確認と課題について、報告が行われ確認した。

2. 本年度の対話集会の方針について

- ① 事務局より資料③の「分野連携対話集会の方針・進め方等について(メモ)」に沿って、開催趣旨、話題提供の候補者選定、意見交流の枠組み、意見交流に向けた準備、アンケート内容のイメージ、対話集会の進め方について報告が行われ、「話題提供」と「意見交流」で構成することを確認した。
- ② 「話題提供」の時間は、1件10分、質疑5分の15分とし、質疑が円滑に行われるように、対話集会の10日前までに事務局に提出いただき、事務局でユーチューブに限定公開することにした。

- ③「意見交流」の時間は、4件のテーマで2時間を予定している。特に、ICTによる学びの個別最適化の工夫、対面と遠隔を組み合わせたハイブリッドによる授業の工夫として、反転授業の導入を中心とした意見交流などが報告された。詳細は次回に改めて検討することになった。

### 3. 話題提供の候補について

各委員会から推薦の話題提供の内容について、それぞれ話題提供者及び委員会から説明が行われた。質疑をする中で、基礎知識の定着が低下している傾向があることが指摘されたことを受けて、反転授業を導入することで顕著な効果が見られる事例の紹介が行われた。その結果、5件の話題提供に歯学分野の取組みを追加することになり、6件とすることになった。

なお、話題提供の概要を開催要項に掲載するため、改めてどのような点が改善されたのかが明確となるよう、次回会議の数日前に事務局に修正したコメントを届け、その上で、事務局との間で調整を行い、次回に開催要項として確認することにした。

### 4. 意見交流のテーマ等について

意見交流の内容については、資料⑤の「意見交流の議論の進め方について（メモ）」に沿って事務局から説明が行われたが、次回の合同会議でアンケートと合わせて改めて検討することになった。

### 5. その他(第2回合同会議の日程等)

次回の開催は、10月27日午後5時～7時とし、開催要項の決定、意見交流の内容と進め方、アンケートの内容、対話集会での委員の役割分担、事前打ち合わせについて検討することにした。